

# 2013年度 第1四半期 決算概要

2013年 7月31日  
パナソニック株式会社

## 本日の内容

2

1. 第1四半期 決算概要
2. セグメント別状況

## 第1四半期 決算のポイント

- **売上高は微増、現地通貨ベースでは減収**
  - 厳しい競争環境が継続し、国内外で実質減収
- **営業利益は徹底した収益力強化により増益**
  - 全社を挙げた固定費削減、合理化効果
  - セグメント別には、住宅関連が順調なES\*と、エネルギー関連が好調なAIS\*が牽引
- **税引前利益、当期純利益は大幅増益**
  - 年金制度の一部変更に伴う一時益の計上

\*ES:エコソリューションズ、AIS:オートモーティブ&インダストリアルシステムズ

## 2013年度 主要ターゲットの進捗状況

- **課題事業の改善は、ほぼ社内計画通り進捗**  
年間改善額目標900億円に対して、1Qは約70億円
- **事業構造の転換に向けた取組みを継続推進**  
事業構造改革費用は年間1,200億円を見込む
- **財務体質は着実に改善**  
1Q末ネット資金は、前年度末より655億円良化

## 第1四半期 連結決算概要

(億円)

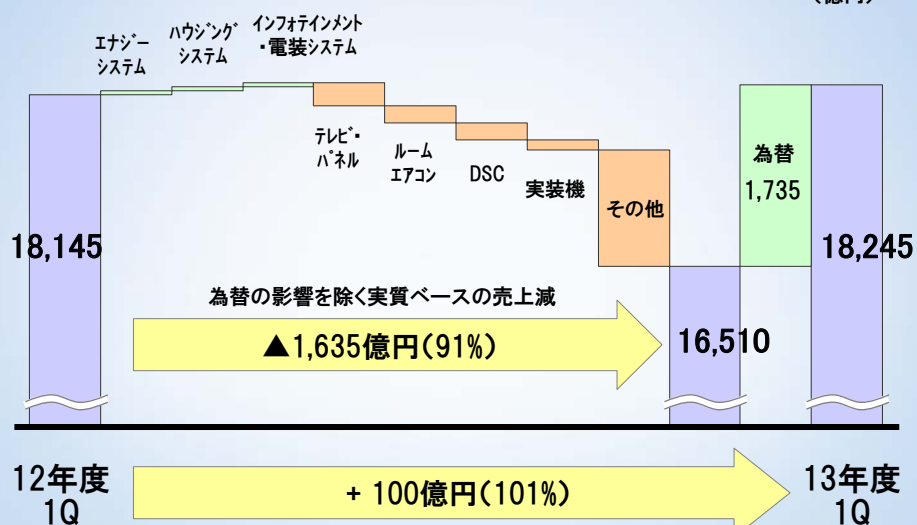
	13年度 1Q	12年度 1Q	前年比 / 差	
国内	8,649	9,221	94%	
海外	9,596	8,924	108%	(88%)*
売上高	18,245	18,145	101%	(91%)* + 100
営業利益	642 (3.5%)	386 (2.1%)	166%	+ 256
税引前利益	1,226 (6.7%)	378 (2.1%)	324%	+ 848
当社株主に 帰属する 当期純利益	1,078 (5.9%)	128 (0.7%)	842%	+ 950

為替 レート		13年度 1Q	12年度 1Q
1USドル		99円	80円
1ユーロ		129円	103円
1人民元		16.05円	12.72円

\* 為替の影響を除いた  
実質ベース(非監査)

## 第1四半期 主要商品別売上高分析 (前年差)

(億円)



## 第1四半期 地域別販売概況

7

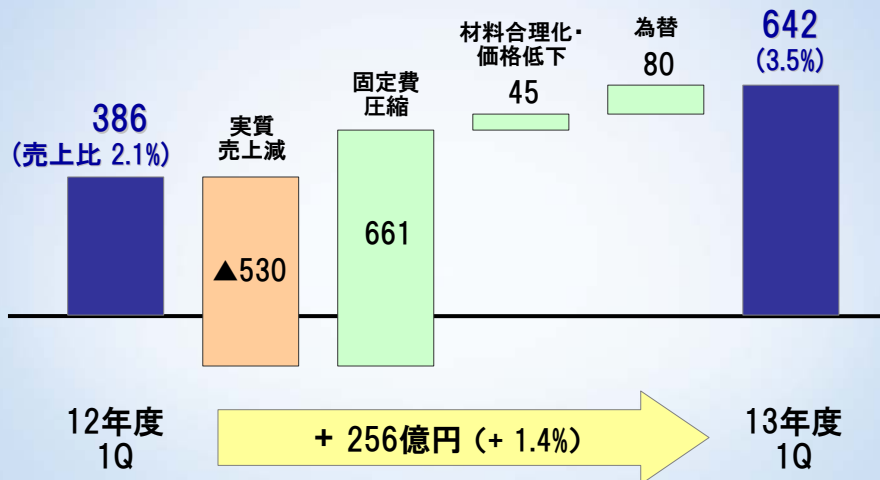
(億円)

	売上高	前年比		構成比(前年差)	
		円ベース	現地通貨ベース		
日本	8,649	94%	-	47%	(▲4%)
米州	2,723	112%	92%	15%	53% (+4%)
欧州	1,772	105%	86%	10%	
アジア	2,579	113%	93%	14%	
中国	2,522	100%	81%	14%	
合計	18,245	101%	91%	100%	

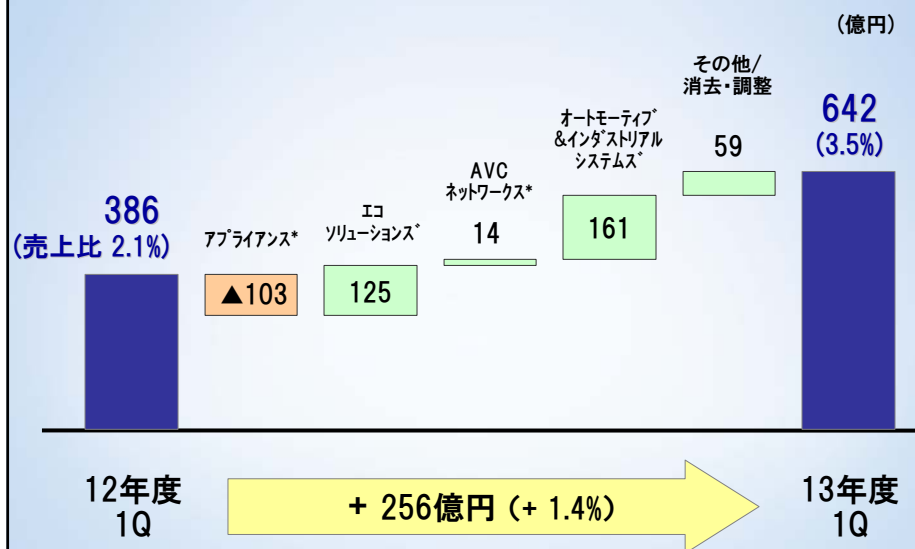
## 第1四半期 営業利益分析 (前年差)

8

(億円)



## 第1四半期 営業利益分析（前年差）



\* アプライアンス、AVCネットワークスは製販連結ベース

## 第1四半期 営業外損益等

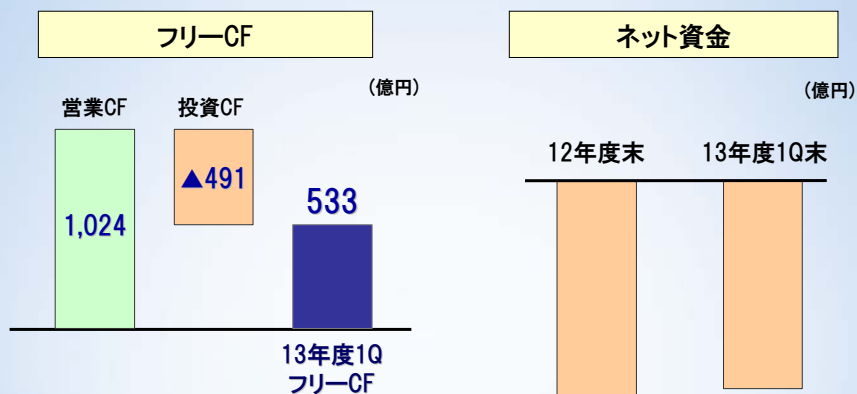
(億円)

	実績	前年差
営業利益	642	+ 256
営業外損益 *	584	+ 592
税引前利益	1,226	+ 848
法人税等	141	▲ 133
持分法による投資利益	13	+ 6
非支配持分帰属利益控除前当期純利益	1,098	+ 987
非支配持分帰属利益	20	+ 37
当社株主に帰属する当期純利益	1,078	+ 950

\* 営業外損益の内訳

事業構造改革費用	▲ 43	▲ 15
早期退職一時金	▲ 2	+ 2

## 第1四半期 フリーCF・ネット資金



<13年度1Q セグメント別フリーCF>

アプライアンス	78
エコソリューションズ	234
AVCネットワークス	▲7
オートモーティブ& インダストリアルシステム*	516

## 本日の内容

1. 第1四半期 決算概要

2. セグメント別状況

## 第1四半期 セグメント別実績

(億円)

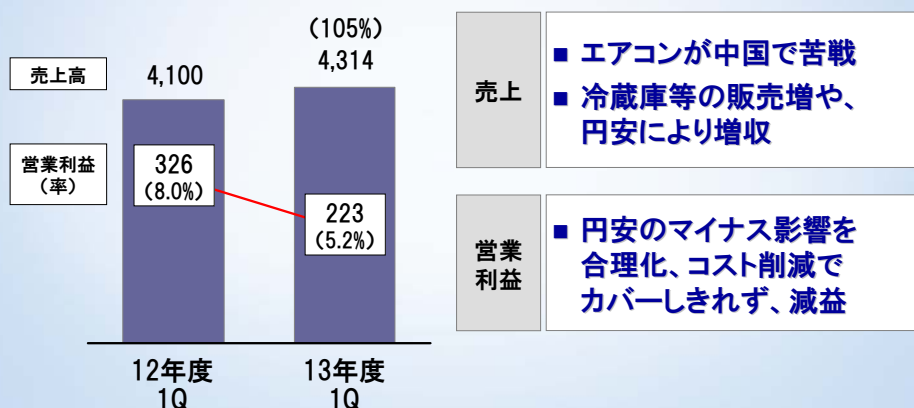
	2013年度 第1四半期			
	売上高	前年比	営業利益	前年差
ア プ ラ イ ア ン ス	3,133	103%	127	▲ 80
エ コ ソ リ ュ ー シ ョ ン ズ	4,116	106%	161	+ 125
A V C ネ ッ ト ワ ー ク ス	3,605	90%	▲ 167	▲ 3
オ ー ト モ ー テ ィ 卜 & イ ン ダ ス ト リ ア ル シ ス テ ム ズ	6,643	105%	287	+ 161
そ の 他	1,853	88%	▲ 28	+ 27
計	19,350	100%	380	+ 230
消 去 ・ 調 整	▲ 1,105	-	262	+ 26
連 結 決 算	18,245	101%	642	+ 256
ア プ ラ イ ア ン ス (製 販 連 結) *	4,314	105%	223	▲ 103
A V C ネ ッ ト ワ ー ク ス (製 販 連 結) *	4,053	93%	▲ 176	+ 14

\* 「アプライアンス(製販連結)」と「AVCネットワークス(製販連結)」には、「消去・調整」に含まれている  
 コンシューマ商品の販売部門の売上高および営業利益を含んでおります。

## 第1四半期 セグメント別実績

### アプライアンス(製販連結)

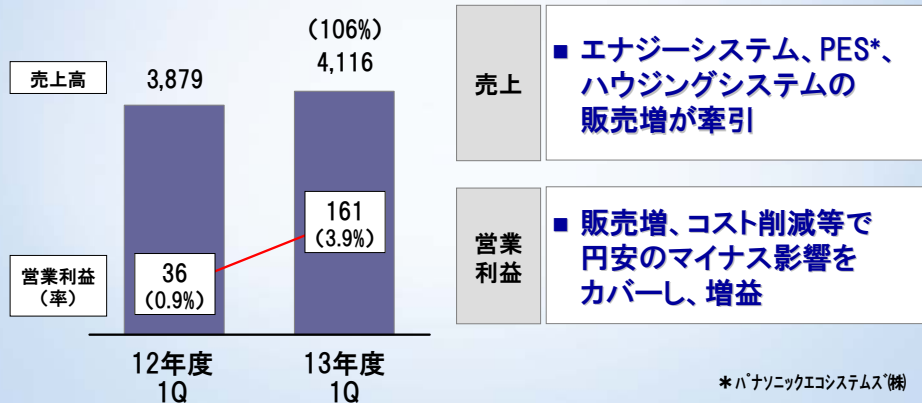
(億円)



## 第1四半期 セグメント別実績

### エコソリューションズ

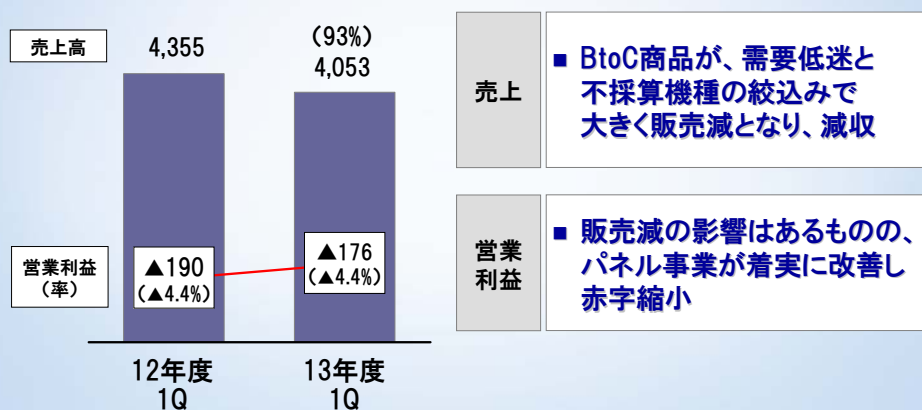
(億円)



## 第1四半期 セグメント別実績

### AVCネットワークス(製販連結)

(億円)

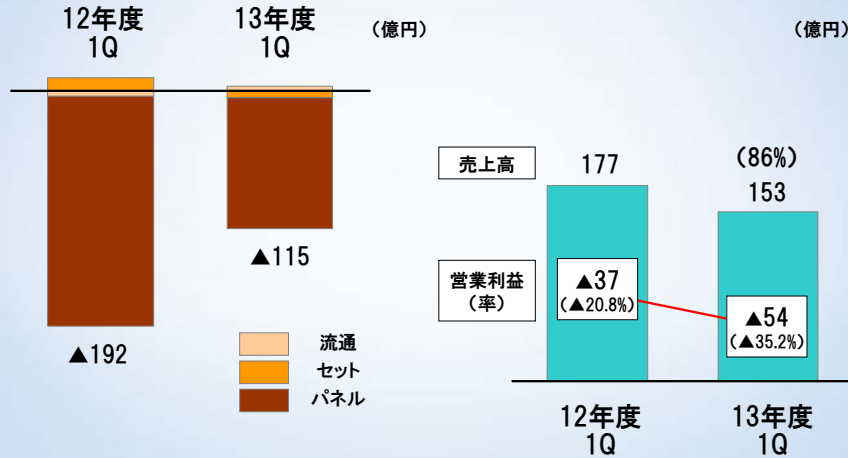




## 第1四半期 主要課題事業の実績

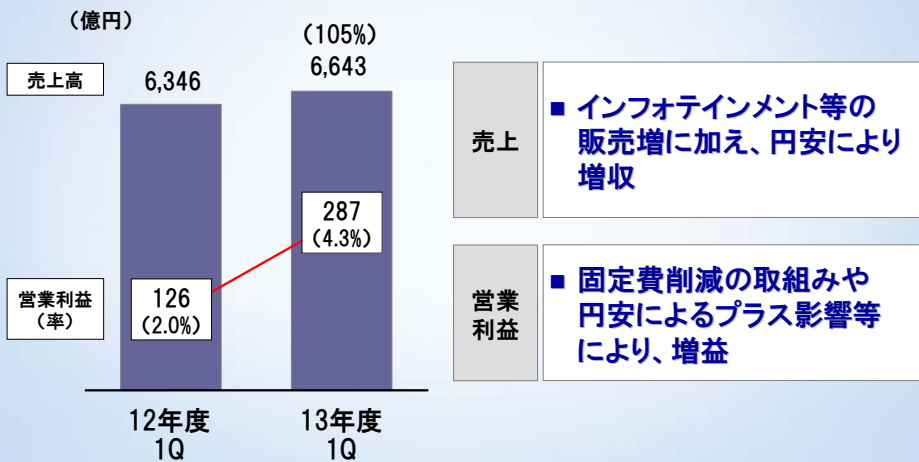
<テレビ・パネル事業(連結収支)>

<パナソニック モバイルコミュニケーションズ(株)>



## 第1四半期 セグメント別実績

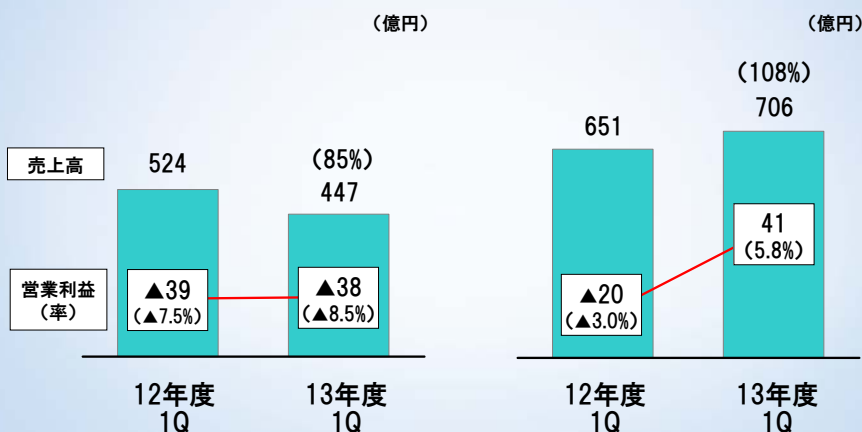
オートモーティブ&  
インダストリアルシステムズ



## 第1四半期 主要課題事業の実績

### <セミコンダクター事業部>

### <小型二次電池事業部>



## 2013年度 セグメント別営業利益見通しの修正

(億円)

	2013年度				修正額
	売上高	前年比	営業利益	前年差	
ア プ ラ イ ア ン ス	11,200	103%	491	+ 127	+ 61
エ コ ソ リ ュ ー シ ョ ン ズ	17,100	102%	704	+ 76	+ 124
A V C ネ ッ ト ワ ー ク ス	16,900	104%	430	+ 347	+ 130
オ ー ト モ ー テ ィ ー プ & イ ン ダ ス ト リ ア ル シ ス テ ム ズ	25,400	101%	951	+ 656	+ 191
そ の 他	9,000	89%	176	+ 142	+ 96
計	79,600	101%	2,752	+ 1,348	+ 602
消 去 ・ 調 整	▲ 7,600	—	▲ 252	▲ 457	▲ 602
連 結 決 算	72,000	99%	2,500	+ 891	0
ア プ ラ イ ア ン ス (製 販 連 結) *	15,100	103%	697	+ 112	+ 67
A V C ネ ッ ト ワ ー ク ス (製 販 連 結) *	18,300	100%	373	+ 689	+ 133

\* 「アプライアンス(製販連結)」と「AVCネットワークス(製販連結)」には、「消去・調整」に含まれている  
 コンシューマ商品の販売部門の売上高および営業利益を含んでおります。

# Panasonic

本プレゼンテーションには、パナソニックグループの「将来予想に関する記述」に該当する情報が記載されています。本プレゼンテーションにおける記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、かかる将来予想に関する記述に該当します。これら将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされたパナソニックグループの仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受けるおそれがあります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する記述に明示的または黙示的に示されるパナソニックグループの将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらすおそれがあります。パナソニックグループは、本プレゼンテーションの日付後において、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。投資家の皆様におかれましては、金融商品取引法に基づく今後の提出書類およびその他の当社の行う開示をご参照下さい。

なお、上記のリスク、不確実性およびその他の要因の例としては、次のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、当社の有価証券報告書等にも記載されていますのでご参照下さい。

- 米国、欧州、日本、中国その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費および企業による設備投資の動向
- 多岐にわたる製品・地域市場におけるエレクトロニクス機器および部品に対する産業界や消費者の需要の変動
- 為替相場の変動（特に円、米ドル、ユーロ、人民元、アジア諸国の各通貨ならびにパナソニックグループが事業を行っている地域の通貨またはパナソニックグループの資産および負債が表記されている通貨）
- 資金調達環境の変化等により、パナソニックグループの資金調達コストが増加する可能性
- 急速な技術革新および変わりやすい消費者嗜好に対応し、新製品を価格・技術競争の激しい市場へ遅滞なくかつ低コストで投入するパナソニックグループの能力
- 他企業との提携またはM&A（パナソニック電工および三洋電機の完全子会社化後の事業再編を含む）で期待どりの成果を上げられない可能性
- パナソニックグループが他企業と提携・協調する事業の動向
- 多岐にわたる製品分野および地域において競争力を維持するパナソニックグループの能力
- 製品やサービスに関する何らかの欠陥・瑕疵等により費用負担が生じる可能性
- 第三者の特許その他の知的財産権を使用する上での制約
- 諸外国による現在および将来の貿易・通商規制、労働・生産体制への何らかの規制等（直接・間接を問わない）
- パナソニックグループが保有する有価証券およびその他の資産の時価や有形固定資産、のれんなどの長期性資産および繰延税金資産等の評価の変動、その他会計上の方針や規制の変更・強化
- 地震等自然災害の発生、感染症の世界的流行、サプライチェーンの寸断、その他パナソニックグループの事業活動に混乱を与える可能性のある要素

## (参考) 事業部一覧

アプライアンス	AVCネットワークス	オートモーティブ&インダストリアルシステムズ
エアコン事業部 冷蔵庫事業部 コールドチェーン事業部 冷機デバイス事業部 ランドリー・クリーナー事業部 キッチンアプライアンス事業部 ビューティ・リビング事業部 モーター事業部 スマートエネルギーシステム事業部	テレビ事業部 AVネットワーク事業部 DSC事業部 イメージング事業部 メディア事業部 ビジュアルシステム事業部 アビオニクス事業部 ITプロダクト事業部 パナソニック プラズマディスプレイ㈱ パナソニック 液晶ディスプレイ㈱ セキュリティシステム事業部 コミュニケーションプロダクト事業部 オフィスプロダクト事業部 インフラシステム事業部 パナソニック モバイルコミュニケーションズ㈱	インフォテインメント事業部 電装システム事業部 エナジーデバイス事業部 パナソニック ストレージバッテリー㈱ 小型二次電池事業部 車載電池事業部 キャパシタ事業部 回路基板事業部 回路部品事業部 機構部品事業部 電子材料事業部 制御機器事業部 セミコンダクター事業部 パナソニック プレシジョンデバイス㈱ 光ピックアップ事業部 パナソニック ファクトリーソリューションズ㈱ パナソニック 溶接システム㈱ パナソニック サイクルテック㈱
エコソリューションズ	その他	
ライティング事業部 エナジーシステム事業部 ハウジングシステム事業部 パナソニック エコシステムズ㈱	パナホーム㈱ パナソニック ヘルスケア㈱ システムLSI事業部	